

平成28年度

市長と語ろう「夢かなうまち おびひろ」 - 地区懇談会 -



○携帯電話は、電源を切るか、マナーモードに設定願います。

テーマ

「どうやっているの？ おびひろの除雪」



帯広市長 米沢 則寿

地区懇談会日程

日 時	場 所
10月29日(土)14時～15時30分	図書館 (西2南14)
11月 3日(祝)14時～15時30分	帯広畜産大学 (稲田町西2線)
11月14日(月)19時～20時30分	大正農業者トレーニングセンター
11月19日(土)14時～15時30分	東コミセン (東7南9)
11月20日(日)10時30分～12時	森の里コミセン (西22南4)
11月22日(火)19時～20時30分	川西農業者研修センター
11月23日(祝)14時～15時30分	緑西コミセン (西17南4)
11月26日(土)10時30分～12時	とかちプラザ (西4南13)



平成26年

とがち・おびひろの元気

平成27年

しあわせの基準とまちづくり

平成28年

どうやっているの？おびひろの除雪

**「どうやっているの？
おびひろの除雪」**

除雪に関する ご意見が多いもの

1位 除雪のやり方が悪い 1,075件

2位 早く除雪してほしい 687件

3位 雪山で見通しが悪い 163件

その他含む 合計2, 157件



**1回の除雪時間
はどれくらい？**

10 ~ 12時間

除雪延長



帯広

1,815.9 km

屋久島



フードバレーとがち

除雪延長の内訳

単位: km

区 分	車 道		歩 道	合 計
	幹線道路	生活道路		
市街地	295.4	554.2	451.1	1,300.7
川西・大正	368.0	132.9	14.3	515.2
合 計	663.4	687.1	465.4	1,815.9
	1,350.5			



除雪の基礎知識

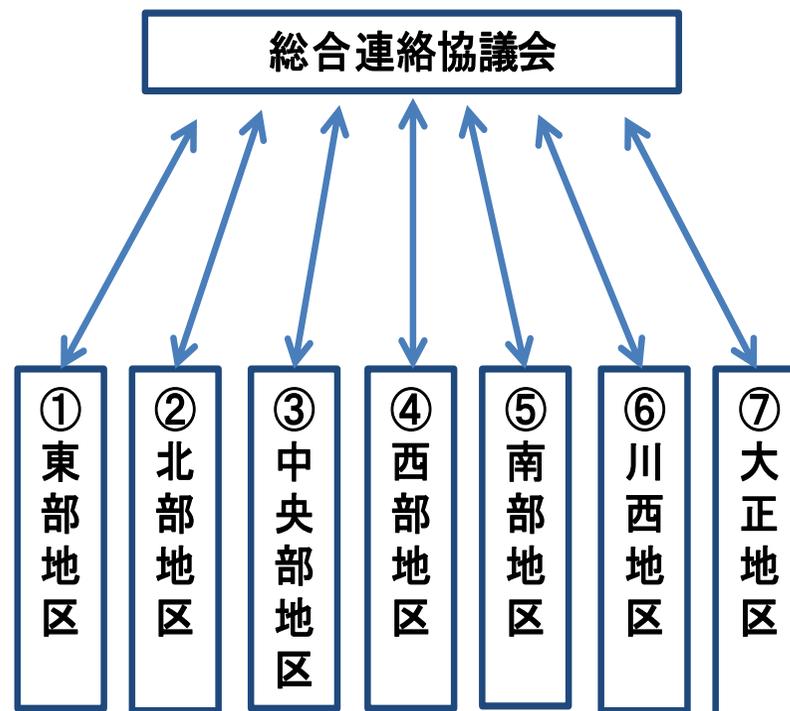
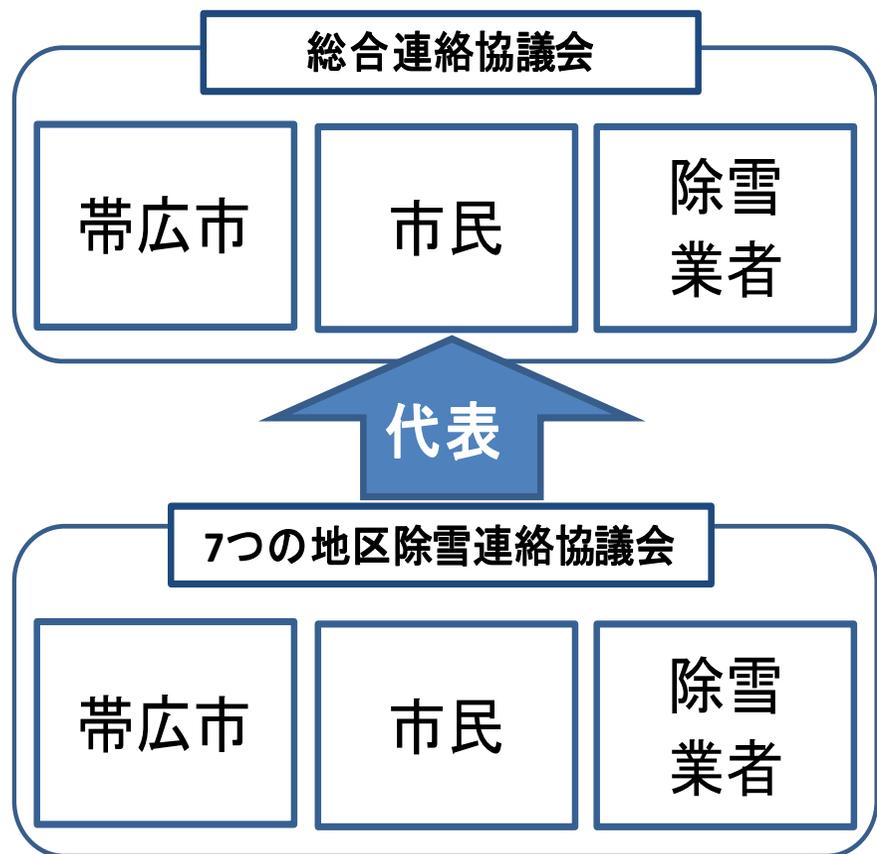
帯広市の除雪



帯広市
除雪実施計画
平成28年10月



市・市民・業者が連携



除雪区域割図

7ブロック

ブロック別業者

①東部地区	東日本道路	他11社
②北部地区	十勝舗道	他11社
③中央部地区	道路保全	他9社
④西部地区	東亜道路	他13社
⑤南部地区	日本道路	他8社
⑥川西地区	十勝道路	他5社
⑦大正地区	タイキ	他4社



除雪体制

業者数 **59社**

除雪車両総数 **266台**

一部、帯広市直営

西5条通、競馬場通、新緑通など

延長 11.9kmを実施

出勤基準と除雪時間

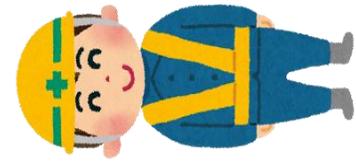
- ・ 出勤の目安とする降雪量
10～15cm
- ・ 除雪する時間帯
午後8時～翌朝6時頃まで
- ・ 除雪にかかる時間
10～12時間（積雪量20cm）

夜間に除雪
10～12時間



夜8時から

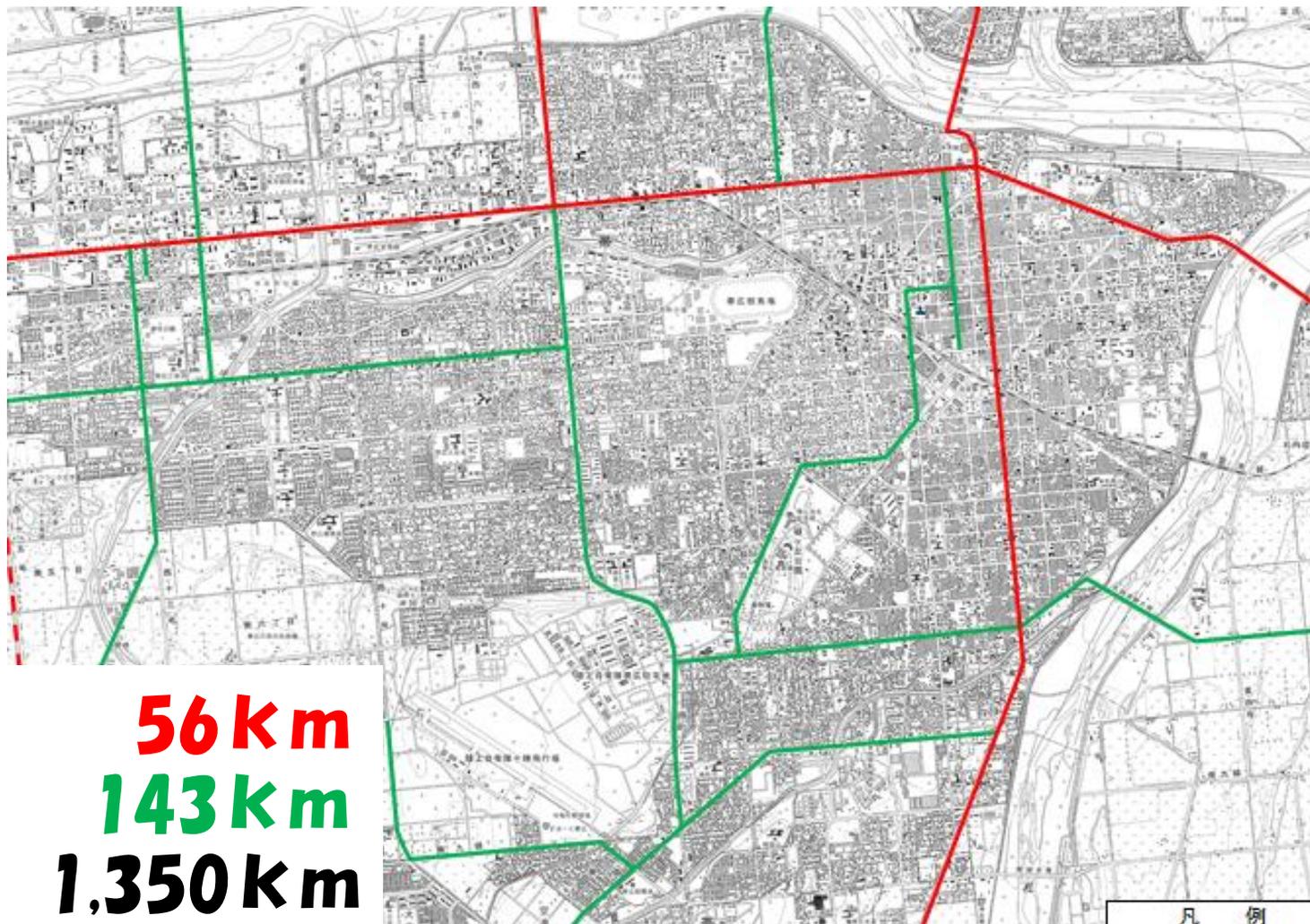
朝6時まで



近隣3町との比較

	除雪実施の目安	除雪時間
帯広市	10～15cm	10～12時間
音更町	10cm程度	5～10時間
芽室町	10～15cm	10～12時間
幕別町	10cmを超えたとき	8～10時間

国道・道道・市道の比較



国道	56 km
道道	143 km
市道	1,350 km

仕上がり基準 (どれくらい開けるの?)



	道路別		施工基準	
			路面状況	除雪幅
市街地	幹線道路		舗装路面まで	車道幅員の70%以上
	生活道路	道路幅員8m以上	最小限の圧雪厚	4.0~5.0m
		道路幅員8m未満		道路幅員の60%以上
郊外	農村幹線道路		舗装路面まで	車道幅員の100%
	農村市街地	道路幅員8m以上	最小限の圧雪厚	4.0~5.0m
		道路幅員8m未満		道路幅員の60%以上
	農村道			車道幅員の100%

除雪機械



フードバレーとかち

削る



グレーダー

広げる



ロータリー



タイヤショベル

かき分ける



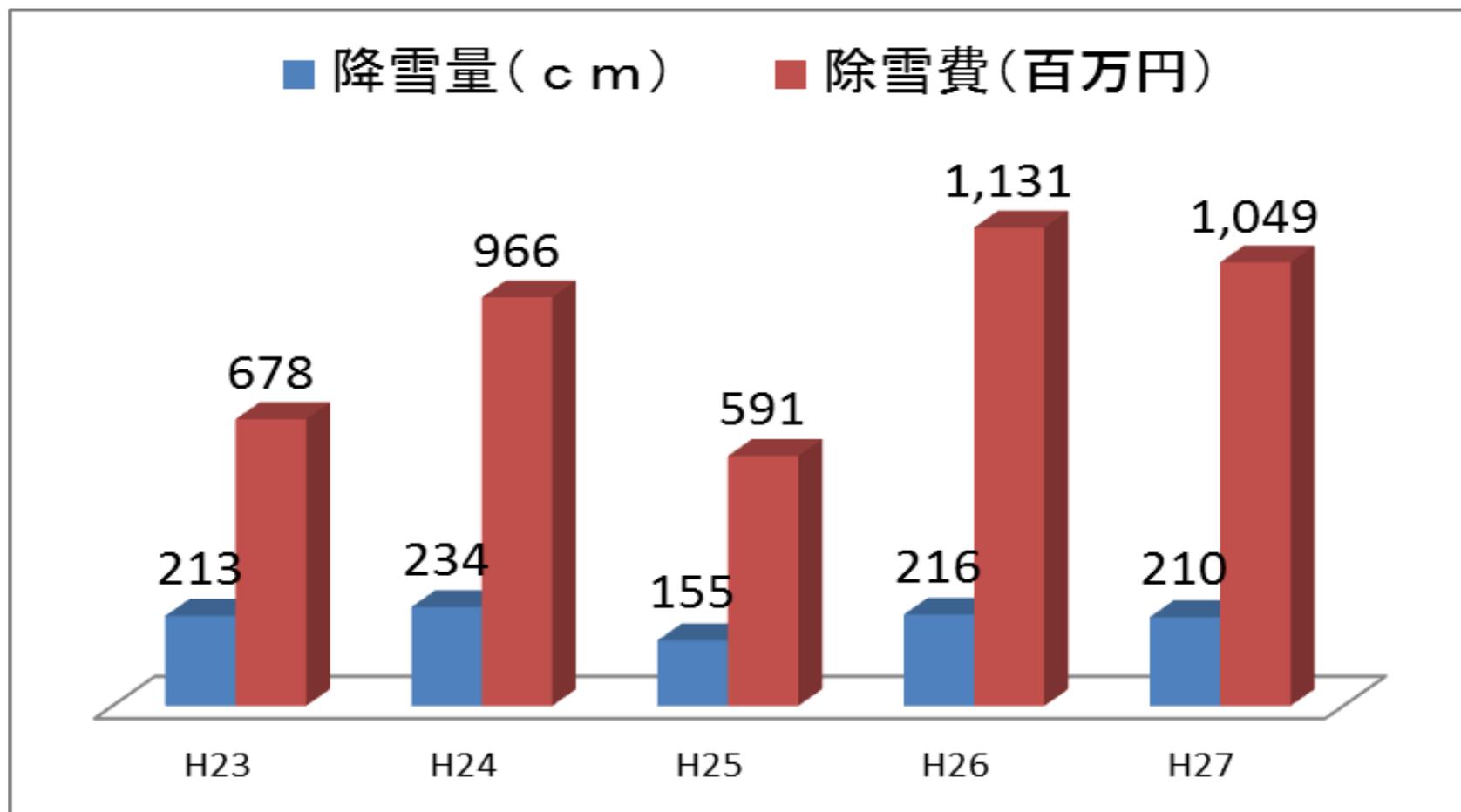
除雪トラック



フードバレーとがち

お金の話

除雪費の推移（過去5年間）



平成27年度の除雪費 1世帯当たり 約12,100円

除雪 1 回当たりの費用（概算）



新雪除雪

5,800万円

雪山除去

1,600万円

拡幅除雪

1億2,000万円

一山
1.6万円

合計 1億9,400万円

1 km
40万円



同じくらいの規模の事業

- **高齢者おでかけサポート
バス事業 1億9,700万円**
- **市道維持補修 2億3,200万円**
- **公園管理運営 1億7,900万円**

除雪の悩み

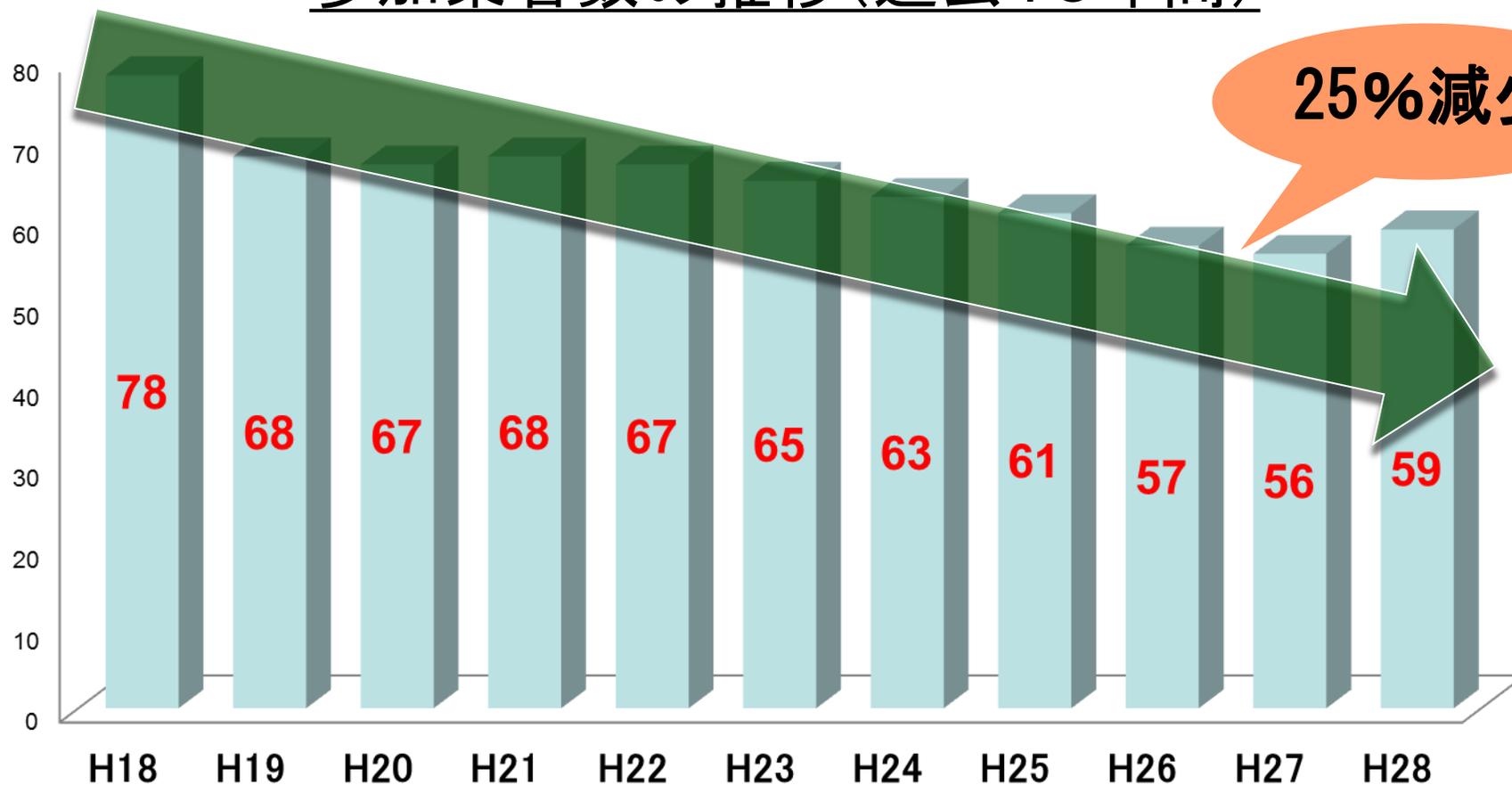


フードバレーとがち

除雪業者の減少

(単位:社)

参加業者数の推移(過去10年間)



25%減少

オペレーターの担い手不足



- ・高齢化が進み、世代交代の最中
- ・若い人のなり手がなく、なかなか見つからない
- ・新たに見つけても、すぐに辞めていく

結果：**オペレーターが育たない**
⇒ **除雪技術が向上しない**



皆さんに
お願いしたいこと

パートナーシップ除雪



市が、町内会が行う除雪費の一部を補助する制度
「市民」と「市」の協働によって生活道路の除排雪
を行うことを目的としている。

制度の背景

生活道路では

- ・除雪を行う度に道路幅が狭くなる
- ・道路脇に寄せられた雪山が高くなる
- ・間口や玄関先の除雪要望が強い



パートナーシップ除雪の概要

- ①小型除雪機械購入補助
- ②小型除雪機械借上補助
- ③パートナーシップ排雪補助
- ④町内空き地利用補助
- ⑤農村部除雪協力制度

①～④は、町内会を実施主体とし、市は費用の二分の一を町内会に補助する(限度額有り)

①～④は、1シーズン1項目の利用に限るが、

④の空き地利用は①～③と重複可能

町内会除雪、共助に一役 市パートナーシップ制度



フードバレーとかち

H28.1.17
十勝毎日新聞



報友町内会(西16北1)
大久保会長
「住民同士が助け合う
雰囲気づくりに
制度が役立っている」

「これまで近所付き合いで
やってきたことに補助が付
くことで、町内会活動の維
持、充実につながっている」

皆さんへのお願い



- ・ 路上駐車をしない
- ・ 歩道や車道に物を置かない
- ・ 玄関先の除雪は各家庭で
- ・ 雪を歩道や車道に出さない
- ・ 除雪車には近づかない
- ・ 大雪の時は外出を控える



**ご意見・ご感想
日ごろ感じていること**

まとめ

- ・ 今ある能力をフル活用
- ・ 市民、事業者、市の協働作業
- ・ 40センチの降雪は災害



テーマ以外のご意見



今日は
ありがとうございます
ございました